

報道関係各位

No. 24-0093A

2024 年 8 月 22 日

ヒューマンアカデミー株式会社

総合学園ヒューマンアカデミー チャイルドケアカレッジ 「新しい形態の保育士養成施設連絡協議会」を発足 保育士不足の社会課題解決に貢献する活動を推進

教育事業を展開するヒューマンアカデミー株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：今堀 健治、以下「当社」）の全日制専門校 総合学園ヒューマンアカデミーチャイルドケアカレッジ（以下、「当学園」）は、このたび、NPO 法人や株式会社が運営する保育士養成施設と共同で、深刻化する保育士不足問題の解決を目的に、『新しい形態の保育士養成施設連絡協議会（以下「新・保育士養成施設」）』を、2024 年 8 月に発足します。

新・保育士養成施設は、全国に 660 以上ある厚生労働大臣指定保育士養成施設の中で、学校法人などが運営する学校教育法の学校（以下「学・保育士養成校」）ではなく、NPO 法人や株式会社が運営する、保育士資格取得に特化した保育士養成施設で構成される協議会です。

【本件のポイント】

- 保育士不足問題の解決を目的に、『新しい形態の保育士養成施設連絡協議会』を 2024 年 8 月に発足
- 幅広い年齢層の方が学びやすいように、授業数と学費を抑えて、学生の時間と経済的負担を軽減
- 「新・保育士養成施設」は、今後、国や各企業へ保育士育成に寄与する各要望書提出などの活動を推進



【新・保育士養成施設 設立の背景】

保育現場が人材不足問題を抱えるなか、昨今、短期大学や専門学校の保育科が相次いで閉校・閉科となっています。一方で保育士資格を取得したいと考える既卒者（社会人・子育て経験のある方）は相当数おり、こうした方たちに新・保育士養成施設の存在を知ってもらうことで、資格取得に踏み切る後押しとなり、学びの機会を提供できる存在となるよう効果的に認知拡大また施設類型の地位向上を目指す活動を行うために、協議会を発足することになりました。

■ 取材・本件に関するお問い合わせ ■ ヒューマンアカデミー株式会社 広報担当 原 千恵
E-mail : ha_info@athuman.com

【本件の概要】

新・保育士養成施設は、学生の年齢層が幅広く、学びやすい時間割やカリキュラムを設定しています。幅広い年齢層の保育士有資格者を輩出することが、社会課題である保育士不足問題解消への貢献になると考え、当学園のカリキュラムは、保育士に必要なスキルに絞り、最短週 1 回からの通学で 1,380 時間の授業時間数を設定しました。そこで、時間的な制限や金銭的負担を感じずに 10 代から 70 代の幅広い年齢層の方が受講されており、在学平均年齢は 30 歳です。



この活動を通して、仕事や育児で勉強時間を確保できないが保育士資格を取得したいとお考えの方に、新・保育士養成施設の存在を知っていただき、保育士不足の解消に貢献してまいります。

【新・保育士養成施設 今後の活動予定】

・国へ要望書を提出

①保育士養成施設である、大学・短期大学・専門学校・施設間の単位互換認定

中途退学する学生の既修得単位を無駄にすることなく、他校に転・編入学できる環境を構築し、一人でも多く保育士資格を取得できるよう環境を整える。

②幼保特例制度の恒久化

保育士資格を有し、保育現場にて 3 年以上、かつ 4,320 時間以上の勤務経験がある方は、更に 8 単位の履修をもって幼稚園教諭免許が取得できる本制度の実施終了が、現行で 2030 年 3 月末を予定されている。保育士と幼稚園教諭免許を併有していることを採用・勤務者の要件とする「幼保連携型認定こども園」への意向を促進したい国の動向に沿う人材養成の観点から、本制度の恒久化を図る。

③外国籍の保育士有資格者に就労ビザの発行

「家族滞在ビザ」や「永住権」を有していない外国籍の学生が入学し、保育士資格を取得するケースがある。看護師や介護士には認められている就労ビザが、現状、保育士には発行されていない。

保育現場で様々なルーツをもつ（外国籍の）子どもが通園している現状を踏まえ、外国籍の保育士が正式に就労出来る環境を整えることで人材不足の改善と、外国籍の子どもを預かる保育現場の現状の問題（言語、文化、食、保護者とのコミュニケーション等）を解決する。

・東日本旅客鉄道株式会社へ要望書を提出

① JR 通学定期券購入

学校教育法の学校に通う学生を対象に通学定期券を発行する現行制度に加え、「新・保育士養成協議会」加盟の 8 校(※1)に通う学生を対象にすることを希望。

文部科学省認可を受ける学校教育法の学校ではないが、厚生労働大臣指定保育士養成施設である。居住が遠方の方であっても、通学定期券が購入できることで、修学に踏み切れるケースがある。

	指定年月日	養成施設名	運営法人名
1	平成 25 年 3 月 8 日	こども學舎	NPO 法人進学支援の会
2	平成 28 年 3 月 25 日	総合学園ヒューマンアカデミー東京校	ヒューマンアカデミー株式会社
3	平成 30 年 3 月 26 日	学研アカデミー保育士養成コース	株式会社学研ココファン
4	平成 30 年 3 月 26 日	八王子保育専門学院	NPO 法人木馬
5	平成 30 年 3 月 28 日	総合学園ヒューマンアカデミー大阪校	ヒューマンアカデミー株式会社
6	平成 30 年 4 月 1 日	総合学園ヒューマンアカデミー横浜校	ヒューマンアカデミー株式会社
7	平成 31 年 3 月 27 日	総合学園ヒューマンアカデミー広島校	ヒューマンアカデミー株式会社
8	平成 31 年 4 月 1 日	総合学園ヒューマンアカデミー福岡校	ヒューマンアカデミー株式会社

総合学園ヒューマンアカデミーとは <https://ha.athuman.com/>

総合学園ヒューマンアカデミーは全国 21 校舎（2024 年 8 月現在）のネットワークを活かし、チャイルドケアカレッジをはじめ、パフォーミングアーツ（声優・俳優）やゲーム、マンガ・イラストなどのほか、動画クリエイター、IT、スポーツ、e-Sports、デザイン、ヘアメイク等の多岐分野に渡り、一人ひとりの「なりたい自分になる」夢を実現させてきました。



数多くある分野の枠を超えた横断的な教育や関連分野学生のコラボレーション学習のほか、全日制から夜間週末講座まで、ニーズに合わせた通学スタイルで常に業界の最先端を意識した教育を実施しています。

現場で活かせる実力の育成、及び、「時代が求める教育のカたち」を追求していくため、現役プロを講師に招聘しています。また、企業と一体となって取り組む企業連携プロジェクトや長期インターンシップ、各種コンペへの参加も積極的に推奨しています。

■ヒューマンアカデミーについて <https://manabu.athuman.com/>

ヒューマンアカデミーは、学びの面白さを提供する「Edutainment Company」として、1985 年の創設以来、時代や社会の変化にあわせながら 800 以上の講座を編成しました。未就学児童から中高生・大学生・社会人・シニア層とあらゆるライフステージにおける STEAM 教育やリスキング、学び直しの支援を行っています。



さらに、独自の「ヒューマンアカデミーGIGA スクール構想」を推進し、学習支援プラットフォーム「assist」を開発。SELing サポートカウンセラーと講師が、個別に学習目的や目標にあわせた進捗管理や相談などの学習サポートをします。私たちは、常に最先端の教育手法やテクノロジーを取り入れ、学びの喜びを追求し、最高水準の教育サービスを提供していきます。

■ヒューマングループについて

ヒューマングループは、教育事業を中核に、人材、介護、保育、美容、スポーツ、ITと多岐にわたる事業を展開しています。

1985 年の創業以来「為世為人（いせいいじん）」を経営理念に掲げ、教育を中心とする各事業を通じて、教育格差、労働力不足、高齢化社会、待機児童問題など、時代とともに変化するさまざまな社会課題の解決に取り組み、独自のビジネスモデルを展開してきました。人と社会に向き合い続けてきたヒューマングループ

は、いま世界全体で達成すべき目標として掲げられた SDGs（持続可能な開発目標）にも積極的に取り組んでいきます。SDGs への貢献を通じて、「為世為人」の実現を加速させ、より良い社会づくりに貢献していきます。

●ヒューマンホールディングス WEB サイト：<https://www.athuman.com/>



会社概要

ヒューマンアカデミー株式会社

●代表者：代表取締役 今堀 健治 ●所在地：東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿プライムスクエア 1 階

●資本金：1,000 万円 ●URL：<https://manabu.athuman.com/>

■本件に関するお問い合わせ■ ヒューマンアカデミー株式会社 担当 原 千恵
E-mail: ha_info@athuman.com

■ヒューマングループに関するお問い合わせ■ ヒューマングループ 広報担当 若林・平
E-mail: kouhou@athuman.com